

● おもな記事 ●

- 1面 活動と予算
- 2面 ひろがりを求めて
- 3面 施設めぐり
- 4面 民協、社協活動のお知らせ



発行 藤沢市長後地区
社会福祉協議会
編集 藤沢市長後地区
社会福祉協議会 広報部
事務局 藤沢市長後513番地
長後市民センター内
責任者 神山政一



障害者(児)福祉に努力

総会で神山会長を再選

副会長に秦野(民協)、小山(自治連)両氏を選任!!

総会に活発な発言

理事による社協総会が五月二十日多数の出席により開かれ支決算の認定
(一)五十二年活動報告並びに收支予算(案)について
(二)五十三年活動計画並びに收支予算(案)について
(三)役員改選についてを議決した

担当常任理事決る

- 特に障害者問題について地域社協としての姿勢について、意見を交換する。
- 会長 神山 政一
 - 副会長 秦野 勤
 - 副会長 小山与四郎
 - 会計 岸田 英敏
 - 計(企画) 広田 昭一
 - 監事 小菅 重行
 - 監事 塚越 正治
 - 顧問 岸田 英敏
 - 吉原順一 小林 護
 - 岡村彦市 築瀬 勝
 - 青少年 ○小山与四郎
- 牧タケチ 成瀬一雄
 - 遠藤柳太郎 昇 堅治
 - 三宅平二郎 久保田 啓一
 - 小菅 重行
 - 村上喜久子 梅田 清
 - 渡辺寿子 福島四郎
 - 廣田 清
 - 善 銀 ○秦野 勤
 - 森 政雄 安田淳一
 - 安田貞夫
 - 給 食 ○広田 稔
 - 山崎加津子
 - 障害者 ○広田 昭一
 - 大矢一夫 大宮 融
- は担当リーダー
敬称略、順不同

53年度 長後社協 活動と予算

心ふれあう街づくり

私達の社会は全てが健康で心豊かな人達ばかりが生活している訳ではありません。日常生活の上で、生活行為に障害がありハンディキャップを負った、多くの人達が生活していることを忘れてはならない。

地域の社会福祉協議会ではこうした人達とふれ合いを持ちながら、コミュニケーション福祉をおし進めることが課せられた使命ではないかと思う。
共に生きる「心ふれあう街づくり」を目指して、各事業を積極的に会員の方々の参加と協力により展開していきたい。

今年度の基本目標

- 一 会員意識を高めるとともに、地域住民に密着した活動を行なう。
- 二 各団体との連絡調整の強化をはかる。

項目	%
老人福祉	26.48%
青少年福祉	13.62
くらしの福祉	9.08
善意銀行	4.54
団体育成	10.21
研修費	7.56
広報活動費	18.68
文化レクリエーション	1.13
諸費、功労費	8.7

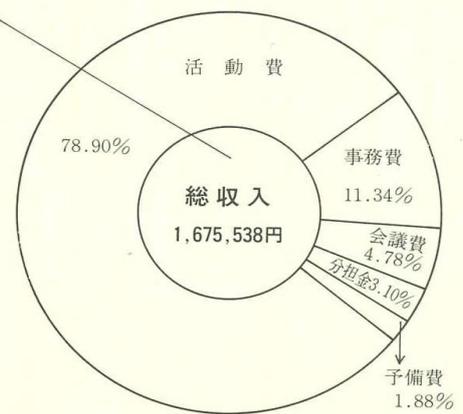
具体的な活動
(一)青少年児童福祉活動
— こともをより良く 育てるために—
○親子映画会
○中学卒業を祝う集い
(二)老人福祉活動
— お年寄りを守るために—
○敬老会の開催(七六才以上)

三 リーダーの養成。
具体的な活動
(一)青少年児童福祉活動
— こともをより良く 育てるために—
○親子映画会
○中学卒業を祝う集い
(二)老人福祉活動
— お年寄りを守るために—
○敬老会の開催(七六才以上)

化をはかる。
三 リーダーの養成。
具体的な活動
(一)青少年児童福祉活動
— こともをより良く 育てるために—
○親子映画会
○中学卒業を祝う集い
(二)老人福祉活動
— お年寄りを守るために—
○敬老会の開催(七六才以上)

予算の内訳

総収入の内訳
会費 61.30%
交付金 14.92%
寄付金 8.95%
雑収入 9.25%
繰越金 5.58%



- (三)お年寄りの集い開催
- (四)くらしの福祉活動
- (五)生活講座の開催
- (六)障害者(児)福祉活動
- (七)善意銀行の活動
- (八)お年寄りの輪を広げるために—
○生活貸付資金の運用
○登録ボランティアの連絡調整
- (九)関係団体との連絡調整
- (十)寄付等の窓口
- (十一)ひとり暮らしの老人、身障の人で給食を要する人の配食。
- (十二)広報調査活動
- (十三)ふれあい五号の発行
- (十四)季刊「長後だより」月刊「お知らせ」に協力
- (十五)研修会
- (十六)理事、企画部員、ボランティア登録者
- (十七)文化レクリエーション
- (十八)親子もつぎ大会の開催
- (十九)地区文化活動の発展を図る
- (二十)団体育成費の交付
- (二十一)長後地区内の七団体に募金活動
- (二十二)日赤共同募金の推進
- (二十三)その他必要と認めた事業

※五十三年度総会記録より

身障者連絡協議会

長後地区「ふれあいの会」(仮称)を

つくりませんか

私には、私自身が「ばんだ切
あなたには、あなた自身が「ばんだ切
それは身障であることなからうと同じ
親兄弟であること同じです

世の中の人が
私に振り向いてくれなくても当然
世の中の人が

あなたに手を貸してくれなくても当然
それなのに

もし、振り向いてくれたら
もし、手を貸してくれたら
それはもう、大変なことです
あがたい、ことなんです

身障者の会「ともに生きる」より

ひろがり求めて

市点訳奉仕会々々

高倉 永井 洋城

福祉とは「地ならし」だとい
人もあります。
障害があるうと、なからうと、
幼なからうと、老い衰えていよ
うと、すべてどんな方であらう
と、生きる。権利を持っていま
す。自分は健康で、若々しいと
思っているでも、段々と年をとっ
てゆくのだし、又どんな時に、

どんなことで障害を受けないと
も限りません。
更に、障害はないと思ってい
る人の中にも、案外心の中に障
害を持っている人があらかもし
れません。
人を判別するのに障害の有無
老若の差等で振り分けてはど
かと思えます。障害者にも、健

梨狩りに

ご参加を

長後での「身障者福祉」のま
ちづくりを具体的に考えていき
たいと、長後地区社会福祉協
会では関係者と少しづつ連絡を
とってきました。
さがみライトサロンでも授産

康な人にも悪人はいいます。又善
人、悪人と決めてかゝるのもど
うかと思えます。悪人と思われ
ている人が前非を悔いて立ち直
らないとも限りません。
今迄、点訳奉仕会々々員として
障害者に接していた私は、度々
障害者から教えられ導かれたこ
とがあります。

福祉とは「何かをやってやる」
ことではなく、すべての人々が
「共に歩み、共に生きる」こと
です。「共に歩み、共に生きる」
これを実行するには「ふれあひ」
が必要です。

○その時、相
手が障害者
だからとい
って避けよ
うとするか
のですか。
○その時、そ
れは仕方が
ないと思
いませんか
身障者友の会
発行の「とも
に生きる」に
次のような句
が書かれてい



カナタイプ指導

等大変努力されています。
私達が日常の中で身障の方の
お手伝いをするためには、車イ
スや誘導など知識や心得が必要
となります。
しかし、今年はそれ以前の「み
んなで心をふれあう一歩」とし
て、各々の障害、各々の団体の
方とボランティアを含めた身体
障害者の連絡協議会を九月の梨
狩りの時に発足させたいと思
います。多数ご参加下さい。皆様
のご協力をお願い致します。

梨狩り

月日 九月十四日(木)

対象 長後地区障害者及び
関係ボランティア

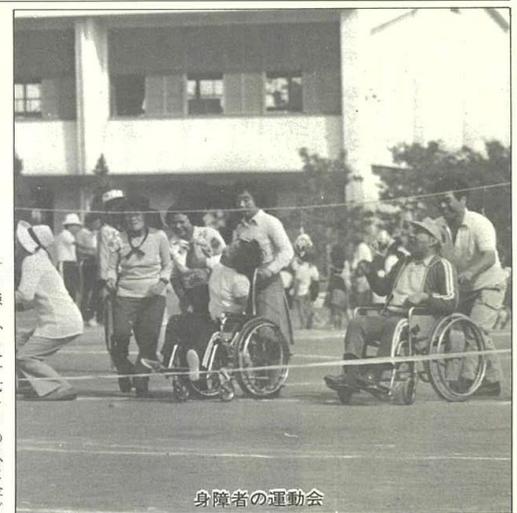
重い身障者であっても
魅力的な人は多い
身障者でなくても
傍に寄りたくないよう
な人もいます

この度、長後地区の社会福祉
協議会では身障者及びボランテ
ィアをすべて一九とする「障害
者」と共に「ふれあひ」会をつくら
うとされています。
一人でも多くの方が、その
主旨に御賛成の上、この運動に
後参加下さるようお願いします。

声のおくりもの

高倉 小菅 榎子

午前十時、我家の犬と猫が、
たっぷり餌を食べ、だらしない
暑さに伸びる頃、私はマイクの
前に座ります。声ならしの為、
しばらく流し読みをしてから大
きく深呼吸をしてカセット・コ
ーダーの録音ボタンを押します。
いつもヒリッと緊張する一瞬。
私が「太陽の家」の朗読講習
会に参加し、終了後、録音奉仕
会に入会し、一年たちました。
ほんの駆け出しで、先輩に頼
りきりのよちよち歩きます。
そもそも私は、誰かの為にな
らうなんて考えて朗読を始めた
わけではありません。日頃、本
を読みたい、読まなくてはと思
いながら、つい家事に追われ
子供の成長の方が早く、取り残
されるような空しさを感じてい
た時、藤沢市広報に朗読講習生
募集の記事を見たのです。
「これはい、一挙兩得だ」
と思いました。でも真夏の太陽
の直中、鵜沼海岸まで通うのは、
正直楽ではありませんでした。
嵐の様な日、海からの風は一段



身障者の運動会

と強く、三十七キロの私は傘こ
と飛ばされそうになったの思
い出します。
そして今、私の拙いテープを
聞いて下さった視覚障害の方か
らの、カナタイプの励ましや御
注意やお礼のお便りに接する時
最高の気分になってしまいます。
自分の勉強のためと思って
始めた録音奉仕ですが、本当に
それだけでいいのだからここ
の頃かえります。

あなたが五体満足なら、それ
はずばらしいことです。その幸
せの一部を、あなたの目や、耳
を、手を足を、障害者の方にお
かしらうではありませんか。
現在市内には、弱視の方も含
めて視覚障害の方は三三一名、
長後地区だけでも三五名いらっ
しゃいます。録音奉仕会では、
その方々の目のかわりをしてお
ります。
もし、あなたが道で目の不自
由な方を見かけたら、勇気を出
して「お手伝いしましょうか」
と声をかけてみてください。そ
してお願いしますと言われて駅
の階段を誘導してさしあげたら
それがボランティアの第一歩だ
と思います。

特別会計予算(53年度)

生活貸付資金を利用できる人は次のとおりです。
1 地区住民で比較的所得の生活にあると思われる世帯。
2 被生活保護世帯が保護支給で賄えない緊急出費を必要とする時。
3 その他一般世帯で、社協会長、あるいは民生委員総務が必要と認められた世帯。
※貸付金額一口二〇,〇〇〇円、原則として一人二口まで。
※貸付金の償還 一ヶ年以内とし分割償還を認めます。
※貸付金の利息 無利子です。
※この貸付を利用したい方は居住地区の民生委員にご相談下さい。

生活貸付資金

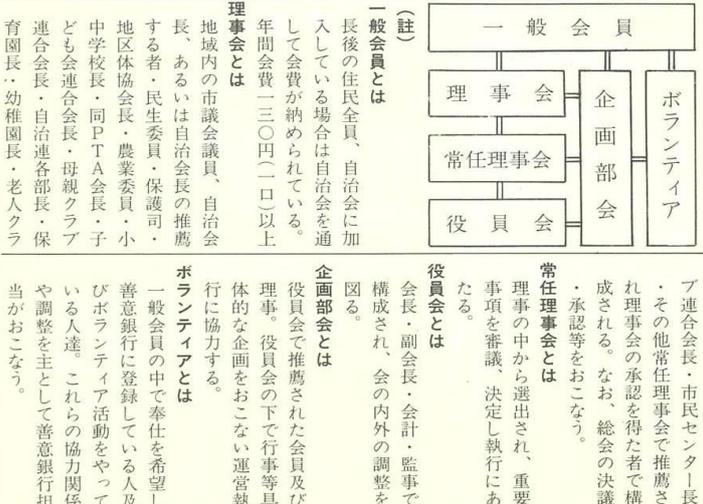
科目	子算額
繰越金	666,121
償還金	43,000
雑収入	68,000
合 計	777,121

老人給食サービス

科目	子算額
市から	250,000
収取収入	75,000
雑繰越金	643,166
合 計	968,166

(註) 収入のうち
市からは
市善意銀行を
市共募からを
雑収入とは
パザー・寄付等を

社協のしくみ



渋谷ヶ原保育園

「園児たちと楽しむ」

湘南台駅から歩いて七、八分の、三方を緑に囲まれた赤い屋根の白い建物が、今年五月に開園された市立渋谷ヶ原保育園です。

隣の空を借りての、五才児、保母さん、用務員さんの手による、あつき畑と、フラワーポットに植えられた稲は「暮に、おもちをついて、園児達と楽しみます」と言われる先生のお言葉に答えるかの様に、青々と繁っていました。



おひるね

湘南台保育園 「健康作りに力を」

湘南台駅から東に五分程歩く、小さな公園を前にして庭にプールを備えた湘南台保育園がある。お昼ごはんからお昼寝にかけては特にここが保育園かと思う程で、緑に囲まれた住宅地の中に静かである。



プールびらき

富士見地区の社協

レポート

五十三年度の「地域福祉活動モデル地区」に県社協より指定された三地区の一つ、平塚市富士見地区社協をたづねた。

国鉄平塚駅北側に位置する人口一万八千人、五千七百世帯、十四自治会、自治会館七、保育園三、小・中学校各一、高校五、商業区を含む文教地区でもある。

昭和四十一年設立、現会長は市立公民館の館長、公民館機能を生かして、活動にはほをもたせている。講座の多いのに注目。高令者講座、成人家庭講座等内容は「生きがい」を求めている。

成人式も社協が委託を受けて地区でやっているが、学年令毎に行ない、おわたあと、同窓会に切りかえるなど、地域を意識する機会でもあり好評であるという。

敬老会は、小学校講堂を会場に、高令者福祉大会として午前講話、午後学習発表会という形で実施されている。

下土棚保育園 「季節保育所から生れる」



おさんぽ

富士見台小学校の西側の低い斜面に、鉄筋コンクリート二階建さらに一段低く、園児の広場がある。広々とした中で、思い切り遊べる満足感な顔と顔、緑もあやかな竹林が、窓越しに見るのが印象的です。

人口の増加につれて一般社会の中にも共働きの人が増え、公の機関が必要となり、保育園建設の声も少しづつ、高まる。そして昭和五十年四月創立された。両親が迎えに来るまでの時間まで一日中園で過ごす子供、中には泣き出す子は、いないであろうか。年間行事も四季を通じて催し物が、沢山ありこまれており、なかなか保育活動にも熱行なっていたと云う。その後、

子どものすこやかな成長を願って、日中面倒をみてもらえない子どもを保育している各保育園。子どもの心理的なものや、事故の心配など考え、と長後地区にも、学童保育が望まれるのではないだろうか。

保育園から小学校に入った子の何割かは給食の始まらない時間帯から放り出されることになり。保育所の必要性が叫ばれ、多くの保育所が出来た。十五年前に現在の場所に移り、今では園児一〇二名となり、生後六ヶ月から預かるそうです。

つたりするそう、小さな手を合わせてお祈りする姿を思い浮かべ、さすが教会の保育園と感心いたしました。懇談会には、教師をしているお母さんから入学後の事など聞か、お話を聞き喜ばれていました。

保育内容も、市の障害児処遇事業によって軽い障害児も一緒に遊ぶ姿が見られます。早期治療の面から言っても喜ばしいことだと思えます。八時半から五時までの保育以外の早期と夕方の親が迎えに来るまでの時間、保育する子は全体の二割強ほどいるようです。この子たちは保育園での生活が長くなりすぎるきらいがあると思われ、小学校へ入学してからの保育の問題がでてくるようです。

学童保育を希望している親は多いものの、今の現状ではカギツ子にしてしまっているようです。子どもの心理的なものや、事故の心配など考え、と長後地区にも、学童保育が望まれるのではないだろうか。



学童保育を考える

市議会報によれば、現在市内九ヶ所で学童保育がなされ、地域から学童保育の希望があれば地域と一緒に施設や資金面の援助を考えているとのこと。しかし、公的施設が使い難い等今後の問題は多くありそうです。

神愛保育園 「小さな手を合わせて」

昭和十年四月、今のユニーの所に創立され、初めは、近くの商店の子どもたち三十二人でスタートされたそうです。十五年に現在の場所に移り、今では園児一〇二名となり、生後六ヶ月から預かるそうです。



おいのり

福祉の最前線

民協総務 秦野 勲

生活困窮者に対する、物心両面の援護指導を図ろうと、民間の篤志奉仕者によって、大正六年岡山県に創設された「済世顧問制度」が民生委員の前身といわれています。

その後、時代の変転にともない各地に「方面委員」制度が生まれ、ようやく昭和三年には、都道府県にまで広がりました。

民生委員

昭和十一年には「方面委員令」が制定され、こゝに初めて全国統一の制度が確立されました。

戦後、昭和二十一年には、いち早く民生委員令が施行され、名称も「方面委員」から「民生委員」に変わり、児童福祉法を機に「児童委員」も兼ねることになりました。

昭和二十三年に「民生委員法」が施行され、この制度の完成を見たのであります。以来六〇年を経過し、現在に至ったものであります。その間法の改正を重ね、今日のような広く社

お知らせのページ

お問い合わせは
長後市民センター内事務局
0466-44-1622

どんな助け合いをするのだろう

善意銀行ではボランティアの方にお手伝いいただけることがあった場合、登録されている方をお願いの連絡をします。

自分で出来る時間や範囲でお手伝い下さい。登録ボランティアの学習会や研修も行ないます。

善意銀行

○福祉講演会 「婦人の生きがいとは」 講師 評論家樋口

今年の活動

○寄付金品等の窓口
○生活貸付資金を民生委員を通じて運用

善銀の日

「善銀」とは善意銀行の略です。地域の福祉など情報交換のしやすいの場になりたいと思ふとき、毎月の第三金曜 午後五時 長後市民センター

年間を通して



バザーのための造花作り

次のことをして下さい

- 障害者(児)やお年寄りの話し相手 お世話
- 盲人の誘導
- おむつ作り
- 行事や事務的な手伝い
- 各種技術の提供、指導
- 車での送迎
- その他お手伝いできる事

昭和53年度日程

1月	17日
2月	21日
3月	28日
4月	18日
5月	16日
6月	20日
7月	18日
8月	15日
9月	19日
10月	17日
11月	21日
12月	19日

心配ごと相談日

老人相談も同時に行っております。お気軽にお出かけ下さい。

私達二十七人の民生委員は福祉の最前線にあるを自覚し、問題の早期解決に東奔西走し頑張っております。

大きなことより小さなものを大事に。を、私達委員のテーマとし、地域の皆さんと共に幸せの道を歩むことを使命と確信し、活動に励んでおります。

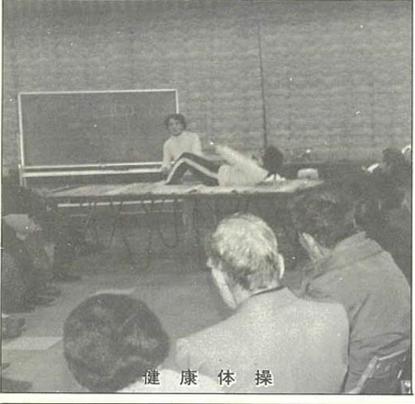
参加してみませんか!!

今年も身近な問題をととり上げ、より一層明らかく、かしこい幕しが出来ますように、皆さんと一緒に勉強し、考える場を持ちたいと、左記のような計画をいたしました。

大勢の皆さんのご参加をお待ちしております。

くらし

1. 健康体操
2. 園芸講座
3. 年金の話



健康体操

敬老会

九月 九日

市と共催で、例年通り開催する敬老会は、老人福祉センター「やすらぎ荘」で行います。

より楽しい集いとなりますよう大勢のご参加をお願いいたします。



奉仕するお年寄り

お年寄りの集い

○54年度 七十七才以上

昨年の集りも、多くの方のご参加があり楽しい集いになりました。今年も、ふるってご参加下さい。

お互いに社会の一員

老人や身障の人で給食を要する人への配食を継続的に実施しています。

対象者とボランティアの人たちとの交流を深めるとともに、社会的関心をもってもらうためお互いに社会の一員であることを意識し合う活動にしていきたいと思ひます。

給食

親子映画会開催予定表

日程	会場	対象地区
6月18日	渋谷ヶ原集会所	渋谷ヶ原・とどろき、四辻共同住宅 下土棚南・下土棚東谷・下土棚東原
	下土棚市民の家	下土棚東・西
7月16日	上高倉公民館	上高倉中部・南部・滝の上・丸山・楳橋台
	高倉市民の家	末広町・高松町・富士見ヶ丘・四辻大塚
9月17日	老人いこいの家	伊勢山住宅・長後通北1・2・渋谷原住
	長後市民センター	長後5・7区・奥田1・2・3・上合みすくほ・長後新長後1・2・3・下土棚団地・コーポ土棚
10月22日	高倉市民の家	全地区
	長後市民センター	全地区
11月26日	東栄会館	中高倉・長後6区
	一三三集会所	長後1・2・3・4区・長後通南部
2月18日	下高倉第一集会所	四辻団地・下高1・2
	長栄会館	長栄会館・グリーンパーク・ひかり 藤栄会

子どもはどんな夢を!!

地域の子どもたちが環境ゆたかに育つよう、情操教育の一助となるように「親子映画会」

「中学卒業生を祝う集い」「講座」等を企画しました。楽しい集いとなります様ご参加をお待ちいたします。

親子映画会は、本年度から、青少年愛護育成会と協賛の形をとりますので、地域の愛護育成協力会の方々のご協力をお願いいたします。

青少年

編集後記

◇記録的な猛暑の連続となった今年の夏休みも、やはり子供中心の家庭であり、地域の様だ。

新しい町は、すべて子供を通じて大人の付き合いが始まり地域の連帯が生れ育っている様に思う。この中に住んでおられるお年寄りの方々は、この暑さをどのように凌いでおられるかと思ふ。

◇本年度の「県民討論会」のテーマが「これからの福祉を考える」に決まってきた様です。お金で解決できなかった人の心の問題が地域福祉の原点ではなからうか。

◇ふれあい五号の為に「協力い」いただきました各保育園さんを始め、五十三年度モデル地区の平塚市富士見地区社協の方々に感謝致します。

募金活動

暖かいおもいやりが地域の福祉等に つかわれています

募金名	実績額 円	目標額に 対する%
53年度 日赤社員	(6月) 1,223,002	104.70
52年度 赤い羽根共募	(10~12月) 968,162	103.66
52年度 年末助け合い募金	(12月) 822,812	119.94